

2年3組 「ぼく」



「ぼく」という男の子が最後に、一番好きなものは「ぼく」と答え、その気持ちを考えました。「ぼくの命が大切だからぼく自身も大切」「生きているから家族に会えた。」「生まれてきてよかった。」などの気持ちがでました。最後に、自分から自分への「しょうじょう」を書きました。自分のいいところや頑張っていることに気付き、自分自身を大切にしようという気持ちが高まりました。